

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場取引所 大

上場会社名 ソレキア株式会社
コード番号 9867 URL <http://www.solekia.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 義和
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 宮崎 雅司

TEL 03-3732-1132

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	8,747	△5.2	41	—	77	—	6	—
24年3月期第2四半期	9,228	6.3	△177	—	△170	—	△128	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △7百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △151百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	0.65	—
24年3月期第2四半期	△13.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	11,438	5,486	48.0
24年3月期	11,716	5,531	47.2

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 5,486百万円 24年3月期 5,531百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	4.00	4.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	6.3	240	—	240	—	100	—	10.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 有
- ④ 修正再表示 ： 無

(注) 詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	10,169,610 株	24年3月期	10,169,610 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	724,519 株	24年3月期	722,128 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	9,446,194 株	24年3月期2Q	9,448,893 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	1
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	1
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、期半ばまでは東日本大震災からの復興需要もあり、底堅く推移してまいりましたが、回復の力強さに欠ける米国経済や長引く欧州債務危機の影響、そしてこれに伴う新興国経済の成長の鈍化などにより、後半には「やや弱含み」となり、更なる下振れが懸念される状況となってまいりました。

企業のICT投資につきましても、こうした国内景気の減速感を背景に慎重な姿勢が続いており、クラウド・コンピューティング、スマートフォン、タブレット端末などの市場拡大や社会の省エネルギー化・スマート化の進展など、一部の業種に明るさはあるものの、当社グループを取り巻く経営環境は、引き続き厳しい状況にありました。

このような経営環境のもと、お客様の多様なニーズに対応すべく、システムの更新、事業継続計画（BCP）、オフコンユーザーのクラウド化、ICTタグの活用など、新しいソリューションやサービスモデルを企画・提案するとともに、社会のスマート化に向けた推進体制を構築するなど、受注拡大への取り組みの強化を図りました。

コンポーネント・デバイス・ソリューション分野におきましては、車載用半導体の一部に回復も見られましたが、欧州をはじめとする世界経済の不振により、電子部品の需要は引き続き低迷したことから減収となり、ICTソリューション・サービス分野でも、サーバーや医療機関向けソフトウェアが増加しましたが、前年同期に計上された情報機器の大型商談の反動減の影響が大きく、減収となりました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、87億47百万円（前年同期比5.2%減）となりました。

損益面につきましては、前年同期の業績悪化の一因だった不採算システム開発案件がなくなったことや商談構成の変化による原価率の改善と販売費及び一般管理費の減少などにより、営業利益は前年同期比2億18百万円改善し41百万円（前年同期は1億77百万円の営業損失）となり、経常利益は77百万円（前年同期は1億70百万円の経常損失）、四半期純利益は6百万円（前年同期は1億28百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

「首都圏」は、システムソリューション、フィールドサービス分野の売上が増加しましたが、電子デバイスは引き続き低迷、また、ICTソリューション・サービス分野ではソフトウェアやサーバーが伸長しましたが、前年の情報機器の大型商談の反動減を補えず、売上高は47億37百万円（前年同期比11.0%減）となりました。

損益面につきましては、前年同期のような不採算システム開発案件がなくなったことに加え、売上が増大したサービス、商品の増益効果もあり、前年同期に比べ大幅な改善となったものの、営業損失88百万円（前年同期は1億85百万円の営業損失）となりました。

「東日本」は、東北地方、長野県での商談の活発化、およびフィールドサービスの増加により、売上高は20億93百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

損益面につきましては、システム部門の効率低下の解消、売上の増加および販売費及び一般管理費の減少により、営業利益は大幅に改善し88百万円（前年同期は35百万円の営業損失）となりました。

「西日本」は、システムソリューションの売上が減少となりましたが、車載用半導体が好調に推移するとともに、ICTソリューション・サービス分野での医療、公共商談が増大し、売上高は18億32百万円（前年同期比1.5%増）となりました。

損益面につきましては、前年同期並みの営業利益96百万円（前年同期比0.5%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、2億78百万円減少し、114億38百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が3億7百万円、商品が2億76百万円、仕掛品が67百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が9億9百万円減少し流動資産が2億93百万円減少したことなどによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、2億32百万円減少し、59億52百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が44百万円、退職給付引当金が34百万円減少したことなどによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、45百万円減少し、54億86百万円となりました。その主な要因は、剰余金の配当により利益剰余金が31百万円減少したことなどによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況に関する分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、3億7百万円増加し、41億3百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は3億76百万円（前年同期比2百万円減）となりました。その主な要因は、たな卸資産の増加3億43百万円、未払消費税等の減少92百万円などで資金の減少があった一方、売上債権の減少8億95百万円、税金等調整前四半期純利益59百万円などによる資金の増加となったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は、30百万円（前年同期は83百万円の減少）となりました。その主な要因は、保険積立金の払戻による収入54百万円など資金の増加があった一方、有形固定資産の取得による支出39百万円、ソフトウェアの取得による支出が17百万円、敷金及び保証金の差入による支出17百万円などの資金の減少があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は、38百万円（前年同期は37百万円の減少）となりました。この主な要因は、配当金の支払額37百万円によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績の状況等を勘案した結果、平成24年5月11日に公表いたしました平成25年3月期の通期連結業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,795,941	4,103,833
受取手形及び売掛金	4,717,439	3,807,607
電子記録債権	99,235	113,375
商品	410,893	687,424
仕掛品	112,271	179,721
その他	276,974	225,679
貸倒引当金	△3,596	△2,245
流動資産合計	9,409,159	9,115,395
固定資産		
有形固定資産	698,833	728,756
無形固定資産	115,062	152,592
投資その他の資産		
投資有価証券	319,727	283,281
敷金及び保証金	549,461	562,115
繰延税金資産	575,377	556,254
その他	53,110	43,765
貸倒引当金	△3,919	△3,543
投資その他の資産合計	1,493,757	1,441,872
固定資産合計	2,307,654	2,323,221
資産合計	11,716,813	11,438,617
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,285,003	2,240,444
短期借入金	1,080,000	1,080,000
未払法人税等	51,487	33,872
賞与引当金	299,300	304,600
受注損失引当金	12,574	3,825
その他	806,205	690,378
流動負債合計	4,534,571	4,353,120
固定負債		
退職給付引当金	1,467,337	1,433,318
役員退職慰労引当金	124,398	104,782
資産除去債務	58,671	61,080
固定負債合計	1,650,407	1,599,181
負債合計	6,184,979	5,952,301

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 9 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2, 293, 007	2, 293, 007
資本剰余金	2, 359, 610	2, 359, 610
利益剰余金	1, 005, 504	973, 829
自己株式	△137, 205	△137, 510
株主資本合計	5, 520, 916	5, 488, 936
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10, 917	△3, 202
為替換算調整勘定	—	581
その他の包括利益累計額合計	10, 917	△2, 621
純資産合計	5, 531, 834	5, 486, 315
負債純資産合計	11, 716, 813	11, 438, 617

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第 2 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)
売上高	9,228,685	8,747,815
売上原価	7,788,897	7,124,549
売上総利益	1,439,788	1,623,266
販売費及び一般管理費	1,617,341	1,582,050
営業利益又は営業損失 (△)	△177,552	41,216
営業外収益		
受取利息	2,106	1,817
受取配当金	5,310	4,923
保険戻戻金	—	32,417
その他	5,728	4,553
営業外収益合計	13,145	43,712
営業外費用		
支払利息	4,940	4,890
支払保証料	957	1,830
その他	254	443
営業外費用合計	6,152	7,163
経常利益又は経常損失 (△)	△170,559	77,764
特別損失		
投資有価証券評価損	664	18,732
特別損失合計	664	18,732
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△171,224	59,032
法人税、住民税及び事業税	13,180	19,180
法人税等調整額	△56,175	33,737
法人税等合計	△42,995	52,917
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△128,229	6,114
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△128,229	6,114

(四半期連結包括利益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△128, 229	6, 114
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22, 785	△14, 120
為替換算調整勘定	—	581
その他の包括利益合計	△22, 785	△13, 538
四半期包括利益	△151, 014	△7, 424
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△151, 014	△7, 424

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△171,224	59,032
減価償却費	28,486	16,342
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,388	△1,725
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11,400	5,300
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	20,559	△8,749
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△7,804	△19,616
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△31,916	△34,019
受取利息及び受取配当金	△7,417	△6,741
支払利息	4,940	4,890
投資有価証券評価損益 (△は益)	664	18,732
保険返戻金	—	△32,417
売上債権の増減額 (△は増加)	766,827	895,691
たな卸資産の増減額 (△は増加)	387,247	△343,981
仕入債務の増減額 (△は減少)	△613,375	△44,558
未払消費税等の増減額 (△は減少)	74,217	△92,829
その他	2,503	△3,507
小計	436,919	411,843
利息及び配当金の受取額	5,391	5,038
利息の支払額	△4,799	△4,939
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△59,397	△35,906
営業活動によるキャッシュ・フロー	378,114	376,035
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△6,360	△3,180
有形固定資産の取得による支出	△15,923	△39,462
ソフトウェアの取得による支出	△64,235	△17,415
保険積立金の払戻による収入	—	54,149
敷金及び保証金の差入による支出	△809	△17,414
敷金及び保証金の回収による収入	4,481	5,408
その他	△362	△12,142
投資活動によるキャッシュ・フロー	△83,208	△30,056
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の純増減額 (△は増加)	△107	△305
配当金の支払額	△37,797	△37,789
財務活動によるキャッシュ・フロー	△37,904	△38,095
現金及び現金同等物に係る換算差額	△615	8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	256,385	307,891
現金及び現金同等物の期首残高	3,784,449	3,795,941
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,040,834	4,103,833

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第 2 四半期連結累計期間 (自平成23年 4 月 1 日 至平成23年 9 月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	首都圏	東日本	西日本	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,324,228	2,000,286	1,805,069	9,129,585	99,100	9,228,685
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,827	2,405	600	9,832	100,308	110,141
計	5,331,055	2,002,691	1,805,669	9,139,417	199,409	9,338,826
セグメント利益又は損失 (△)	△185,735	△35,923	96,449	△125,209	△24,070	△149,279

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失 (△)	金額
報告セグメント計	△125,209
「その他」の区分の利益	△24,070
セグメント間取引消去	546
全社費用 (注)	△28,818
四半期連結損益計算書の営業損失 (△)	△177,552

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、予算と実績の調整差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第 2 四半期連結累計期間（自平成24年 4 月 1 日 至平成24年 9 月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	首都圏	東日本	西日本	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,737,219	2,093,285	1,832,057	8,662,562	85,253	8,747,815
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,530	1,549	600	7,679	116,090	123,769
計	4,742,749	2,094,834	1,832,657	8,670,241	201,343	8,871,585
セグメント利益又は損失 (△)	△88,576	88,342	96,976	96,742	△8,246	88,495

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失 (△)	金額
報告セグメント計	96,742
「その他」の区分の利益	△8,246
セグメント間取引消去	924
全社費用 (注)	△48,204
四半期連結損益計算書の営業利益	41,216

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、予算と実績の調整差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。